

神奈川県立麻溝台高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 麻溝台高等学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和8年3月12日(木) 15時30分～16時30分
開催場所	麻溝台高等学校 応接室
出席者	北里大学教授(学識経験者)、麻溝台高等学校同窓会会長、PTA会長、麻溝台高等学校長、副校長、教頭、事務長、各グループ総括教諭、広報連携グループ員
会議資料	資料冊子(令和7年度学校評価報告書(実施結果)、令和7年度不祥事ゼロプログラムの検証、令和7年度の部活動実績)
議事録	<p>開会 出席者の確認及び協議会成立要件の確認</p> <p>1 校長挨拶</p> <p>2 学校評価報告</p> <p>○カリキュラム 年に5回互見週間を設けた。2学期には振り返りシートを作った。ICT使用を取り入れている。今年から5段階評価を取り入れており学校内に浸透しつつある。</p> <p>○管理運営 式典や地域貢献活動に取り組んだ。今年度の前半はリモート等で対応したが体育館改修工事以降は体育館で行っている。働き方改革としてノー会議週間を設けた。</p> <p>○広報連携 HP等で本校の魅力を伝えてきたが、次年度はより多く活用したい。</p> <p>○進路 総合学習や職業体験で将来について考えさせた。外部試験も効果的に活用し進路実現に向けて生徒に考えさせた。</p> <p>○生活指導 相模原地区の交通安全大会の幹事校だった。スケアードストレートを久しぶりに行えた。自転車のヘルメットの着用について生徒会の生徒を通じて取り組み。</p> <p>○生徒会 文化祭について体育館を使用しない文化祭を行った。一般公開も無事行えた。部活動はグラウンド等が完成して充実してきた。生徒会の生徒が大勢の前で発言できる機会を与えたい。</p> <p>3 不祥事ゼロプログラム 11項目について概ね達成できた。不祥事は自分ごととして捉えられるように職員が輪番で講師を担当し職員会議の時に行った。入学者選抜も事故なく遂行できた。今後も風通しの良い職場を目指していく。</p>

4 卒業後の実績

今年度国立大学の合格者は5名。GMARCHも複数名合格した。次年度も進路実現に向け頑張らせたい。年内入試の意識も生徒間で高まってきている傾向がある。

5 部活動の状況

水泳部全国大会、男子ハンドボール部があと少しで関東大会。どの部活動も頑張っている。

6 情報交換、意見聴取

○現在の麻溝台高校の生徒は傾聴力がある印象。生徒の授業評価が気になる。生徒が言うことをよく聴くから授業が自分自身ちゃんとできているのか気になっているのではないか。

(回答)

・入学直後は活発で徐々に大人しくなっている。もう少し自己主張をしてほしい。

・生徒に振り返りや要望を書いてもらっている。それにより授業を試行錯誤している。もう少し要望等を含めいろいろ書いてもらいたい。

○自転車乗車時ヘルメットは被らない生徒も多いのではないか。

(回答)・ヘルメットの着用は義務化して欲しいのが率直な考えである。努力義務では限界もある。

○総合的な探究の時間について、取組などの今後の改善案はどのように考えているか。

(回答)・今年度から外部教材を使って取り組んでいる。今後も教材を使って進路実現に向けて頑張らせたい。

○OHPについてより具体的な改善案はあるか。

(回答)・他校と情報交換をしながらもっとよりよくすることを検討している。

○チャットGPTの活用の仕方が気になる

・AIとの向き合い方で授業の方法にどう影響するのか。今後教職員としてAIではかなわない授業実践を模索する必要性を感じることもある。楽しくワクワクさせるライブ感のある授業についてはどうか。

(回答)・ライブ感のある授業の実践例として、本校総括教諭のロールプレイがある。時間と空間を共有した子どもたちには対話的で深い学びとなったのではないか。また、AIの活用例を与えれば一生懸命自分たちで模索して取り組む姿勢が見られる。

7 諸連絡

○3月13日プレ登校日。4月7日入学式。次年度も学校運営協議会は6月。